

「何事にも全力で」

合同会社 43人が新たな一歩

大館

大館市内の民間企業・団体に今春採用された新入社員たちの合同入社式が25日、同市有浦のプラザ杉の子で開かれた。24事業所から計43人が出席し、緊張した面持ちで社会人としての新たな一歩を踏み

出した。
大館商工会議所（佐藤義晃会頭）などの主催。入社式と社会人研修会を合わせて行っている。

出席者は主に北鹿地方の高



校や専門学校、短大、大学を出した。
この春に卒業した10〜20代。真新しいスーツ姿で式に臨んだ。新入社員紹介で一人一人の名前が読み上げられると、「はい！」と元気よく返事を

した。
佐藤会頭は「新しい人生のスタートラインに立った皆さまの決意が伝わってきて頼もしい。若い感性と柔軟な判断、迅速な行動で地域の経済と社会の発展に目を向けてほしい」と激励。続いて来賓3人が励ましの言葉を述べた。参加者に記念品が贈られ、衛暖工業の嘉瀬陽香理さんが代表して受け取った。

新入社員を代表し、小滝電機製作所の大森太陽（まひろ）さんは「今この瞬間に覚えている感動を胸に、何事にも全力で取り組んでいく覚悟。仕事を通じて会社や大館の発展向上につながるよう精いっぱい頑張りたい」と抱負を述べた。

その後の研修会では、社会人としての心構えやマナーを学んだ。

元気よく返事をする新入社員たち（プラザ杉の子）